

○ 調査問題

東京五輪2020  
「中高生ボランティア」としてできること

中高生のボランティア参加が可能に？

- 2020年東京五輪・パラリンピック組織委員会が、「中高生枠」のボランティアを設ける方針を決定
- 18歳以上を対象とした一般ボランティアは募集中  
(参考) 一般ボランティアの参加条件
  - ・研修参加・参加日数など
  - ・語学の能力は必要なし
  - ・交通費相当のお金が支給される

中高生ボランティアの活動内容

検討されている活動内容の例 (一部)

- 競技会場の内外での観客案内
- 試合の簡単なサポート
  - ・サッカーやテニスの試合のボール拾い
  - ・バスケットボールの試合のモップ掛け
- レクリエーション活動
  - ・入場待ちの観客に向けた楽器演奏

※一般ボランティアと比べ、活動内容は限られる予定

ボランティアに参加することで期待できること

- オリンピックの運営に携わることができる
- 外国の人や、ほかのボランティアの人と交流できる
- もしかしたら試合を生でみられるかも・・・？

これから「東京オリンピックでの中高生ボランティア」について調べたことを発表します。

Aを見てください。東京オリンピックでは、18歳以上のボランティアとは別に、中高生のボランティアを募集することが計画されています。

それでは、具体的にどのようなボランティア活動ができるのでしょうか。これについては、Bを見てください。私たち中高生ができる活動として、たとえば、観客の案内や試合の手伝い、楽器演奏が予定されています。

私は、こうした活動内容を知ったからこそ、ボランティアに参加してみたいと思いました。18歳以上のボランティアと比べると種類は限られてしましますが、それでも様々な活動ができて、面白そうだからです。

ちなみに、学校でアンケートを取った結果、東京オリンピックに中高生ボランティアとして「参加したい」「できれば参加したい」人は少ないようです。その理由を見てみると、「自分たちに何ができるかわからないから」とあります。しかし、ボランティアの具体的な活動を知れば、自分にもできることがある、と私と同じように興味を持つ人が増えるのではないかと考えられます。

ここまでで、何か質問はありますか。

僕は部活動でテニスをやっているのですが、テニスの手伝いをしてみたいのですが、ボール拾い以外にも手伝えることはあるのでしょうか。

募集が始まるのが楽しみです。ボランティア活動の内容について、希望を出すことはできるのでしょうか。

岡田さん

山口さん

- (3) 岡田さんと山口さんに続いて、東京オリンピックの中高生ボランティアについて、あなたが田中さんに質問するとしたら、どのような質問をしたいですか。【田中さんのポスター】や【発表場面の一部】の内容に触れながら、あとの条件1〜条件3にしたがつて書きなさい。  
なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり、行間に書き加えたりしてもかまいません。
- 条件1 二段落構成で、六行以上、八行以内で書くこと。  
条件2 一段落目には、中高生ボランティアについて、岡田さんと山口さんに続けて質問したいことを、実際に話すように書くこと。  
条件3 二段落目には、その質問をした理由を、【田中さんのポスター】や【発表場面の一部】の内容に触れて書くこと。

○ 調査問題の趣旨・内容

【問題の概要】 質問したい内容を書き、その質問をしたい理由を、内容に触れて二段落構成で書く

【出題の趣旨】 場面に即した適切な質問をする

○ 誤答分析

解答類型	① 正答	2 段落のみ	3 形式	4 敬体	5 内容	9 不十分	0 無解答
反応率	39.0%	5.1%	2.0%	0.3%	9.9%	20.7%	22.9%

○類型⑨の半数は理由が示せなかった。また、類型②の段落分けをしていない生徒も、質問だけで理由を示せていない。

○誤答の中では、無解答の生徒が一番多かった。自分の考えを書き表す学習活動をする必要がある。

○条件作文などの学習を計画し、書く学習の機会を意図的に増やす必要がある。

## ○ 指導上のポイント

### 話を聞き、話題に沿って適切に質問する力をつける活動

#### 〈学習活動例〉

○1年スピーチをする：部活動を紹介しよう



スピーチを聞いて、もっとくわしく知りたいと思ったことを質問しましょう。



部活動に入部して、最初の大会は、5月15日にあります。3年生は最後の大会です。その日のために、部員は一生懸命練習をしています。・・・

今度の大会は、1年生も出場するのですか？



どのようなところに力を入れて、練習をしたのですか？



※ 指導のポイント 話す側は、相手意識をもち、聞く側は、目的をもって聞くようにします。

### 根拠を明確にして、話したり、書いたりする力をつける活動

○全教科を通して、自分の考えを話したり、書いたりするときは、理由や根拠を明確にします。

自分の考え「わたしは、～と思います。」

理由・根拠「なぜなら、～だからです。」

#### 〈学習活動例〉

道徳科で



この時の、主人公の気持ちは？

彼は、正直に伝えようとしたと思います。  
なぜなら・・・



学級活動で



体育祭の振り返りを書いてみましょう。

今度の体育祭では、クラスの絆が深まりました。  
理由は・・・

国語科で学習したことを、国語の時間だけでなく、全ての教科等で指導するカリキュラム・マネジメントの視点が大切です。

## ○ 復習シート・コバトン問題集の活用

【出典】復習シート  
令和元年度  
第2学年  
「書くこと」  
レベル9～11

条件1 二段落構成で、六行以上九行以内で書くこと。  
条件2 一段落目には、よりよいと思う意見を、案①と案②から選び一つ書くこと。  
条件3 二段落目には、そう考える理由を書くこと。

案① クラスの中でおすすめの本を紹介する  
案② 読んだ本の数を競うコンテストをする

2 あなたのクラスで学校図書館の活用を活性化するために、次の二つの案が出されました。二つの案のうち、一つにしぼって取組を行うことになりました。  
あなたはどちらの意見がよりよいと思いますか。あなたの対場を明らかにして、その理由をあとどの条件1から条件3にしたがって書きなさい。なお読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり、行間に加えたりしてもかまいません。